定例山行

浅間隠山・信越トレイル 山行報告書

【山　域】西上州・関田山脈
【場　所】浅間隠山 1756m・信越トレイル 563m～938m
【行動日】2018.6.30(土)～7.1(日)
【参加者】CL 菊池、SL・会計 加藤、井上志津子(食担)、井上里美(食担)、小俣（会計)、菅井、寺崎、安岡、渡辺純子、磯部(記録)
【行程】

6/30 (晴れ) 二度上峠駐車場 10:45 出発→浅間隠山 12:25 着→二度上峠駐車場 13:50→馬曲温泉泊

7/1 (晴れ)馬曲温泉発 5:15→駐車場 6:05（車デポ）7:12 出発→富倉峠 8:00 着→ソブ池 8:35 着→桂池 10:35 着 11:00 発→駐車場着 13:00→帰葉

【内容】

浅間隠山は標高 1756m、200 名山の一つである。史上初の早い梅雨明けを聞き期待を膨らませて、二度上峠の駐車場から標高差 430m の山頂を目指す。

ピンクのシモツケ草が咲いている林道を少し行くと右側から山道となる。沢沿いの登山道沿いには黄色いモミジイチゴがたわわに実っている、完熟の実は甘くとても美味しい。

緑の美しいカラマツ林を過ぎて、ブナの自然林へと続く道は程よく緩急のある道で歩きやすく、所々にオダマキが咲いている。

時々クマの落とし物（？）を見るが、クマよけさながらの女子隊の賑やかさが安心させてくれる。春ゼミの鳴き声を聞きながら気持ちよく登っていくと、頂上に近づくにつれヤマツツジの咲き残りがあり、アヤメも咲いている。

頂上からの眺めはすばらしい！の一言に尽きる。西側の真正面に堂々と浅間山、もくもくとした夏雲を背景に美しいスロープを見せている。東には日光、谷川、榛名山、険しい山容の妙義も見える。天気に恵まれ、気持ちの良いハイキングであった。

宿泊は憧れの馬曲温泉、内風呂も良し露天風呂もすばらしい。宴会は、食担当のアイディアあふれる料理に山談義の花が咲いた。

翌７月１日は、信越トレイル section3 最低標高 563m 最高標高 938m、気温が高く水分とカロリーの調整が課題のハイキングである。

下山地の仏ヶ峰登山口に一台デポし、スタート。しばらく登り富倉峠に到着、昨晩の宿馬曲温泉が見える。梅雨明けの太陽が照り付けるが吹き抜ける風が気持ちよい。樹林帯に入ると美しいブナが見られる、ブナは水分を多く含んでいるということで、幹に触れると冷たく気持ちが良い。途中、名のない池に人々が何やら観察をしているので行ってみると、モリアオガエルの卵が木の枝についていて今まさにオタマジャクシとなって池に落ちているということだった。池には山椒魚が待ち構えていて、池に到着と同時に食べられてしまうものもいるということだ。

その後、途中水休憩をとりながら、桂池に到着。日影は涼しい風が吹き抜けて気持ちが良い。空にはトンビが旋回し、釣り人が糸を垂れている。

登山道脇に山アジサイの花街道が一か所あり癒された。花の残っているササユリも２株見られた。

その後は急な下りと登りを経て戸狩スキー場に到着。からからに乾いた喉をお小夜の水で潤した。

まさかの梅雨明けで天気に恵まれ眺望もよかったが、かなりの暑さであった、しかし夏山の鍛錬になったと言える山行であった。

菊池リーダーにはペース配分の取り方から、日常トレーニングまで丁寧に教えて頂き大変参考になりました。運転、食事、会計とそれぞれの担当の方々本当にありがとうございました。